

羽田圭二

社民党世田谷区議会議員

はねだ
けいじ

せたがやレポート

NO.135 2018年7月号 世田谷区野毛3-6-22 ☎ 3702-3550 FAX3702-3881

子どもが安心して暮らせる世田谷に

世田谷区議会第2回定例会は、6月22日招集された本会議をもって終了しました。今回の議会では、目黒区で発覚した児童虐待に よると思われる幼児の死亡事件を受けて、子どもたちの生命と健康を守るための区の取り組みを求める発言が相次ぎました。虐待の背 景にある貧困や子育て不安を抱える家庭への支援が必要です。

子どものいのち優先

目黒区で発覚した児童虐待 によると思われる幼児の死は、 子どもの生命を守るための取 り組みを求めています。
「何故、虐待によって死に 至ったのか」「死に至るまで家 庭や子どもへのケアはどうで



あったのか」など、多くの疑問 が指摘されました。

虐待が現にある事実や疑いの ある場合には、何よりも子ども の生命が優先されなければなり ません。児童相談所の機能の強 化や関係機関の連携が一層求め られています。

子育て不安の解消へ

世田谷区は、07年から「虐待 のない世田谷をめざして」を重 点施策に掲げて虐待の予防から 早期発見・対応・再発防止の仕 組みをつくってきました。

育児不安や負担が生じやすい 時期に子育て支援ヘルパーを派 遣し、家事・育児補助をおこな う産前・産後支援（さんさんサ ポート）事業を第1次予防事業

として展開しています。

さらに、第2次予防の事業と して、産後ケアセンターを設立 し、産後の心身ともに不安定な 時期に、母子ショートステイや 母子デイケアを実施し、育児不 安の解消や児童虐待の予防を目 指しています。

虐待のない地域社会

再発防止の対応として虐待を 受けている（受けていた）児童 等を対象として、学生ボランティア 2名を派遣して、遊び・学 習・話し相手などの活動を行い、 子どもの安心と自立を支援して きました。また虐待が危惧され る親への支援として、「親講座や トレーニング」などを通じて再 発防止に努めてきました。

区は、現在東京都が所管する 児童相談所を区へ移管し、20年 の開設を目指しています。子ども の人権・子どもの最善の利益 を保障した相談所機能が求めら れています。

自然再生エネルギーの活用を



東京電力福島第1原子力発電所の事故は、福島県民の生活再建の道に重くのしかかっています。

5月10日から二日間福島県いわき市を訪問しました。富岡町、楡葉町をまわり、浪江町役場までの道のりとなりました。もう2度と帰宅することはできないとされている「帰宅困難地域」【上写真】は、高いフェンスに囲まれ、主要道路のゲートは、バリケードで封鎖され、警備員が常駐していました。

■行き場のない核のごみ

「家屋内と周囲は除染によって放射線量が低くなっても、付近は高いところがある」と言われ、除染したごみは、地域の各所に山積みされていました。



さらに、事故後の原子炉は停止していても核燃料棒を冷却し続けなければならないため、放射能に汚染された大量の汚染水の

処理が問題となっています。

この汚染水は現在、原発施設内の貯蔵タンクに詰められ保管されていますが、国や東電は、汚染水の放射線量を「低レベル」にして海洋投棄する考えを持っています。

県民の多くは、県内の原発施設・福島第2原子力発電所の廃炉を求めるとともに海洋汚染の不安が残る汚染水の海洋投棄に反対しています。

【写真：鉄塔の奥が福島第1原発】

■原発に頼らない

世田谷区は、2011年3月の原発事故後、区内の電力消費を抑えるため家庭や企業の省エネ運動を展開してきました。また、世田



谷区は、神奈川県三浦市の健康学園跡地に太陽光発電所【左写真】を設置し市内の家庭用電力として活用しています。

さらに、長野県や群馬県など他の自治体と連携して、区民が自然再生エネルギーを活用する仕組みを支援してきました。今後、青森県弘前市の太陽光発電所とも連携した取り組みが始まります。

世田谷区議会議員 **羽田圭二** とは

- 1954年5月2日 世田谷区野毛生まれ。
- ◆区立玉川小学校・玉川中学校卒業
小中学校時代はほとんど目立つことなく、小学6年生から牛乳配達、中学時代は朝夕の新聞配達のバイトをして人並の生活を求めた。
- ◆都立新宿高校定時制課程を卒業
夜間高校時代は、新宿「成田屋そば店」50ccバイクで出前配達のアルバイト。その後「国鉄東京建築工事局」に臨時雇用員として、昼間働きながら4年間の定時制課程を卒業した。保坂展人区長とは、新宿高校時代からの友人。
- ◆中央大学法学部通信教育課程を卒業
初挑戦した区議選の惜敗を受けたが、法律を学ぶこととし、1999年の区議会議員当選後、10年間かけて51歳で卒業した。
- ◆1999年4月区議会議員初当選
連続当選で現在5期目。所属会派は、世田谷立憲民主党・社民党区議団。会派役職は、政調会長の任についています。

羽田圭二から報告とご案内

4月 春の区政報告会



4月の区政報告会は、世田谷区議会第1回定例会終了後、今回も区内7か所で開催いたしました。道路改修や街路灯の設置(写真)や在宅介護の改善など多くの要望やご意見をいただきました。

5月 新庁舎建設リング会議



区役所本庁舎(写真)建設に向けたリング会議を傍聴しました。学識経験者、周辺地域団体代表、一般区民が一堂に会して基本設計などに対し、意見を出し合います。

6月 後援会親睦旅行会



恒例の親睦旅行会は、6月17日~18日に終了しました。今年は、新潟県十日町市松代まで出かけました。棚田や美人林(写真)を見学し、新緑のまつだいを満喫しました。

報告 政策づくりに向けて



6月22日、政策づくりワークショップ「もしも私が区長だったら」をテーマにおこないました。福祉、教育など多岐にわたるご意見をいただきました。

いただきました。

世田谷区政アンケートを実施中 ご協力をお願いします。

みんなでつくる世田谷をめざして、区政アンケートを実施しています。

ハガキにご記入の上、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

保育待機児の解消へ

今年4月1日現在の保育待機児数は、昨年より372人少ない489人となりました。入園希望数の減と、保育施設の拡充が進んだことが保育待機児児童減少につながりました。

しかし、待機児数は、地域によって偏在しています。「働き続けるためにも保育園に入園できるように」の声が届いています。特に0歳から1歳までの低年齢児保育の拡充策が求められています。

真の「働き方改革」とは

待遇格差の是正

同一労働・同一賃金の実現

正規社員と非正規社員の間での待遇格差が問題となっています。同じ仕事、同じ時間働いても賃金や休暇・手当で格差があるのはおかしくないでしょうか。

6月1日の最高裁判決は、正規社員と非正規社員とで皆勤手当や通勤手当など待遇に格差をつけることは「不合理」なので是正するよう求めました。この判決は、労働契約法第20条の規定に基づくもので、待遇格差の是正に近づくものとして期待されています。

その一方で、転勤や出向のない非正規社員に対して住宅手当が支給されないのは「不合理とは言えない」としています。そのため、転居を伴う転勤のない正社員にも波及することが懸念されています。(下図参照)

最高裁が示した手当を巡る判断

【ハマキョウレックスの場合】

○は「差は不合理」	×	「不合理と認めず」			
手当の種類	正社員	契約社員	一審	二審	最高裁
無事故手当 1万円			×	○	○
作業手当 1万円			×	○	○
給食手当 3,500円			×	×	○
住宅手当 2万円			×	×	×
皆勤手当 1万円			×	×	○
通勤手当 5千円	3千円		○	○	○

2014年から5千円

羽田圭二の活動報告

4月活動報告			5月活動報告			6月活動報告		
1	日	立憲野党・市民連合集会	1	火	第89回日比谷メーデー	1	金	社民党都連合常任幹事会
2	月	地域回り	2	水	地域回り	2	土	地域回り
3	火	地域回り	3	木	5.3 憲法集会	3	日	玉川消防団操法大会
4	水	写真撮影	4	金	地域回り、地域宅夕食会	4	月	地域回り
5	木	区立玉川小学校入学式	5	土	木村農園 BBQ、LGBT 連盟	5	火	議運 自治研究会総会・講演
6	金	地区別区政報告会【上野毛】	6	日	レインボープライド	6	水	地域回り
7	土	社民党都連合大会	7	月	子ども青少年協議会	7	木	事務処理
8	日	東京土建世田谷大会	8	火	地域回り	8	金	地域回り
9	月	区立玉川中学校入学式	9	水	日朝議連総会・講演会	9	土	区立玉川中学校運動会
10	火	区立中町幼稚園入園式	10	木	社民党B事務局長視察	10	日	防災士協会総会
11	水	広報・議会連委員会	11	金	生かそう憲法区民集会	11	月	23区議団勉強会
12	木	経済学入門勉強会	12	土	立川市応援	12	火	地域回り
13	金	区政報告会【中町】	13	日	六所神社総代会	13	水	議運・本会議
14	土	六所会、安全パトロール	14	月	臨時会 議運・本会議	14	木	野毛安全パトロール
15	日	桜新町さくらまつり	15	火	立川市応援	15	金	経済学入門勉強会
16	月	本庁舎整備レク	16	水	金剛山歌劇団鑑賞	16	土	立川市議選最終日
17	火	区政報告会【烏山】	17	木	東急バス労組議員懇談会	17	日	羽田圭二後援会親睦旅行会
18	水	事務処理	18	金	議運・本会議	18	月	同上
19	木	戸田市東戸田中視察	19	土	Node シンポジウム	19	火	都市整備常任委員会
20	金	事務打ち合わせ	20	日	中町ソフト、野毛子ども会	20	水	オリパラ環境特別委員会
21	土	東京建設世田谷大会	21	月	社民党世田谷政策審議会	21	木	地域回り
22	日	レポート配布	22	火	広報・議運	22	金	議運・本会議
23	月	オリパラ環境特別委	23	水	自治体議員団常任幹事会	23	土	社会新報配布
24	火	都市整備常任委員会	24	木	社民党関東連絡会	24	日	新宿高校定時制北斗同窓会
25	水	社民党都連合常任幹事会	25	金	都市整備常任委員会	25	月	地域回り
26	木	社民党世田谷総支部会議	26	土	中大信窓会総会・懇親会	26	火	地域回り
27	金	玉中PTA 歓迎迎会	27	日	野毛町会ゴミゼロデー	27	水	社民党都連合幹事長会
28	土	第89回連合メーデー	28	月	オリパラ環境特別委員会	28	木	保坂展人報告会
29	日	地域宅訪問昼食会・夕食会	29	火	公契約シンポ	29	金	たんぼぼの会例会
30	月	駒沢給水塔保存会総会	30	水	世田谷地区労定期大会	30	土	憲法カフェ
			31	木	社民党B事務局長会議			

羽田圭二とたんぼぼの会 入会のお願

たんぼぼの会は、区議会議員・羽田圭二を財政面と政策面から支え、併せて会員相互の親睦を図ります。

この会は、会員の皆様からのカンパ及び年会費2,000円によって運営されています。

郵便振替口座 00160-5-11783

口座名称 羽田圭二とたんぼぼの会

*****連絡先*****

〒158-0082 世田谷区等々力4-5-10 伊佐ビル1階

☎3702-3563 FAX5758-2682

E-mail:haneda@myad.jp

羽田圭二プロフィール

世田谷生まれ・世田谷育ち

1954年(昭29)世田谷区野毛39番地で生まれる

1967年(昭42)区立玉川小学校卒業

1970年(昭45)区立玉川中学校卒業

屋間国鉄で働きながら都立新宿高校定時制課程卒業

1976年(昭51)KPU京王自動車労組職員

1977年(昭52)世田谷局内郵便局入局郵便局員として郵便貯金窓口で働く

議員生活の中、51歳で中央大学法学部通信教育課程卒業

99年(平11)区議会議員初当選15年区議5期目に復活。

●都野毛ア/パート自治会会長/都立広尾高校 PTA 会長/東京公立高等学校PTA第2学区長/上野毛地区町会自治会連合会監事を歴任●区議会では 福祉保健常任委員/環境・エネ問題対策特別委員会委員長/区民生活常任副委員長/社民党世田谷区議団幹事長を歴任/現役職・世田谷立憲民主党・社民党区議団政調会長/都市整備常任副委員長

●現在 東京都公害防止管理者 第II30771号/社民党都連合代表及び世田谷総支部代表/社民党自治体議員団全国会議幹事長/中大信窓会東京支部相談役/中大白門会世田谷区支部副幹事長

THE SHAKAI SHIMPO

社会新報

発行所 社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)
〒104-0043 東京都中央区築3-18-17 マル十ビル5階 電話代表 03(3553)3787・振替 00140-1-3230 ●定価180円●1ヵ月700円●送料164円